

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習14

クラスCD	ハ-204	開講日	8月1日(水)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	30名

講習科目名	ICTを活用したアクティブ・ラーニング活動	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小川 哲哉 (おがわ てつや)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	3時間
講習内容	次期学習指導要領で重視されているのは、子どもたちにどのような形で主体的・対話的な深い学びを実現させるかである。そのためには、教師が教育活動において、子どものコミュニケーション能力や情報活用能力を向上させる教育方法を論究する必要がある。本講習ではiPadを活用しながら、それらの学習方法を高めていくアクティブラーニング活動を行う。具体的には、グループによる協働活動の形態で、「現代の教育問題」を分析する教育番組を作成し、プレゼンテーション活動を行う。		
到達目標	1)アクティブラーニングの理論と実践の理解を深める。 2)現代の教育問題の特質と問題点への関心を深める。 3)ICT教育のスキルを学び、授業方法の技術的向上を図る。		
受講者への事前連絡事項	講義形式の授業も行うが、講習の大部分はグループ等による協働学習がメインであることをご承知おき頂きたい。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込み可とする。

【選択】新展開講習(国語・書道コース)3

※この講習を受講する方はニ-211を受講することができません。

クラスCD	ニ-206	開講日	8月1日(水)
対象職種	教諭	定員	50名

講習科目名AM	言葉を楽しみ言葉を磨く国語科の授業づくり	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	昌子 佳広 (しょうじ よしひろ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(国語)	担当時間	3時間
講習内容	<p>・国語科授業の本質的・根源的なねらい・目標を「言葉を楽しみ言葉を磨く」と捉える立場から、その実現を目指す授業のあり方を、以下のプロセスを通して提案する。</p> <p>①詩を読むことの授業実践事例紹介 ②文学教材の教材研究(演習)と文学(物語)を読むことの授業づくり ③古典教材の教材研究(演習)と古典(随筆)を読むことの授業づくり ④まとめ</p>		
到達目標	<p>・国語科授業の基礎的・基本的な理念を再構築する。 ・国語科授業づくりにおいて今後重視すべき視点を獲得する。</p>		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	言葉を理解すること	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	川嶋 秀之 (かわしま ひでゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(国語)	担当時間	3時間
講習内容	<p>私たちは日ごろ言葉を交わしたりあるいは文章を読んだりして、そこに使われた言葉のことを分かったつもりになっているが、何をどのように理解しているのだろうか。本講義では、国語の教科書に登場する具体的な作品や俳句等を例に取り、言葉を理解するときに関与する言語場のあり方・意味の構造(顕在化する意味・潜在化する意味)・コンテキスト(文脈)・表現の呼応などさまざまな要素を視野に入れながら、言葉を理解するとはどういうことか、自らの理解の限界を知りそれを突破するにはどうすればよいかを考えてゆく。</p>		
到達目標	<p>言葉を一般的概念的に理解するのではなく、言葉の意味のディテールやコンテキスト・文章全体の呼応や構造など、さまざまな要素を考慮しながら言葉の理解ができるようになる。</p>		
受講者への事前連絡事項	ありません。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(理科・農業コース)3

クラスCD	ニ-207	開講日	8月1日(水)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名AM	「環境問題のとらえ方」を考える	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	阿部 信一郎 (あべ しんいちろう)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科・農業)	担当時間	3時間
講習内容	理科で学ぶ内容は、環境問題を理解するために役立つたくさんの知識を含んでいます。しかし、環境問題は倫理的問題や社会的課題など、様々な問題を内に宿しているため、教科横断的な視点から環境問題を理解することが必要です。「私たちは環境問題をどのようにとらえ、どのように次世代に伝えていけばよいのか」、幾つかの環境問題を題材として皆さんと討議(グループワーク)しながら考えていきたいと思ひます。		
到達目標	環境に対する考えを自覚し、環境に対してどのような態度をとるべきか自問すること(ことを期待します)。		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	地球表層環境の変遷	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	上栗 伸一 (かみくり しんいち)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科・農業)	担当時間	3時間
講習内容	前半は、身近な地層を構成する岩石を基に、地層の成因や堆積環境などを推定することを通して、大地は長い時間と広い空間の中で変化していることを理解する。後半は、地球史における環境変遷を概観することで、現在起きている地球温暖化について考える。		
到達目標	・茨城県に分布する岩石の観察を通して、その大地の変化を300字程度で要約することができる。		
受講者への事前連絡事項	・汚れても構わない服装で受講してください。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。